

即時OA義務化におけるリポジトリ対応

査読済み学術論文と根拠データのリポジトリ登録

JAIRO Cloud作業部会 南雲 修司（東京学芸大学）

2025年12月19日 JPCOAR地域ワークショップ@沖縄
（沖縄県大学図書館協議会×JPCOAR）

自己紹介

略歴



東京工業大学



一橋大学



東京工業大学



学芸大

2005

▲
採用

4~5年ほど事務局へ

2018

2020

2023

▲
ここからリポジトリ担当

現在の業務



機関リポジトリ管理



デジタルアーカイブ管理



大学史資料室事務



JPcoar JAIRO Cloud作業部会
(学外)

本日のお話

1. 即時OA義務化に対応するには
2. 具体的な対応
 - ① 即時OAの条件を満たすためのゴール
 - ② そのためのリポジトリ登録作業
3. 査読済み学術論文・根拠データの登録デモ

即時OA義務化に対応するには

誰が・何を・どうする？

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針

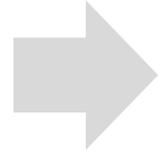
公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者（法人を含む）に対し、
該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、
即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づける。



まとめると…

誰が・何を・どうする？

誰 が



競争的研究費を受給する者

何 を



学術論文及び根拠データ

どうする



機関リポジトリ等の情報基盤への掲載

「誰が」の詳細

即時OAの対象となる競争的研究費

- 科学研究費助成事業（JSPS）
- 戦略的創造研究推進事業（JST、AMED） AMEDは「革新的先端研究開発支援事業」
- 創発的研究支援事業（JST）

対象期間

- 2025年度から新たに公募を行う競争的研究費
=2024年度以前に公募されたものは対象ではない

「何を」の詳細

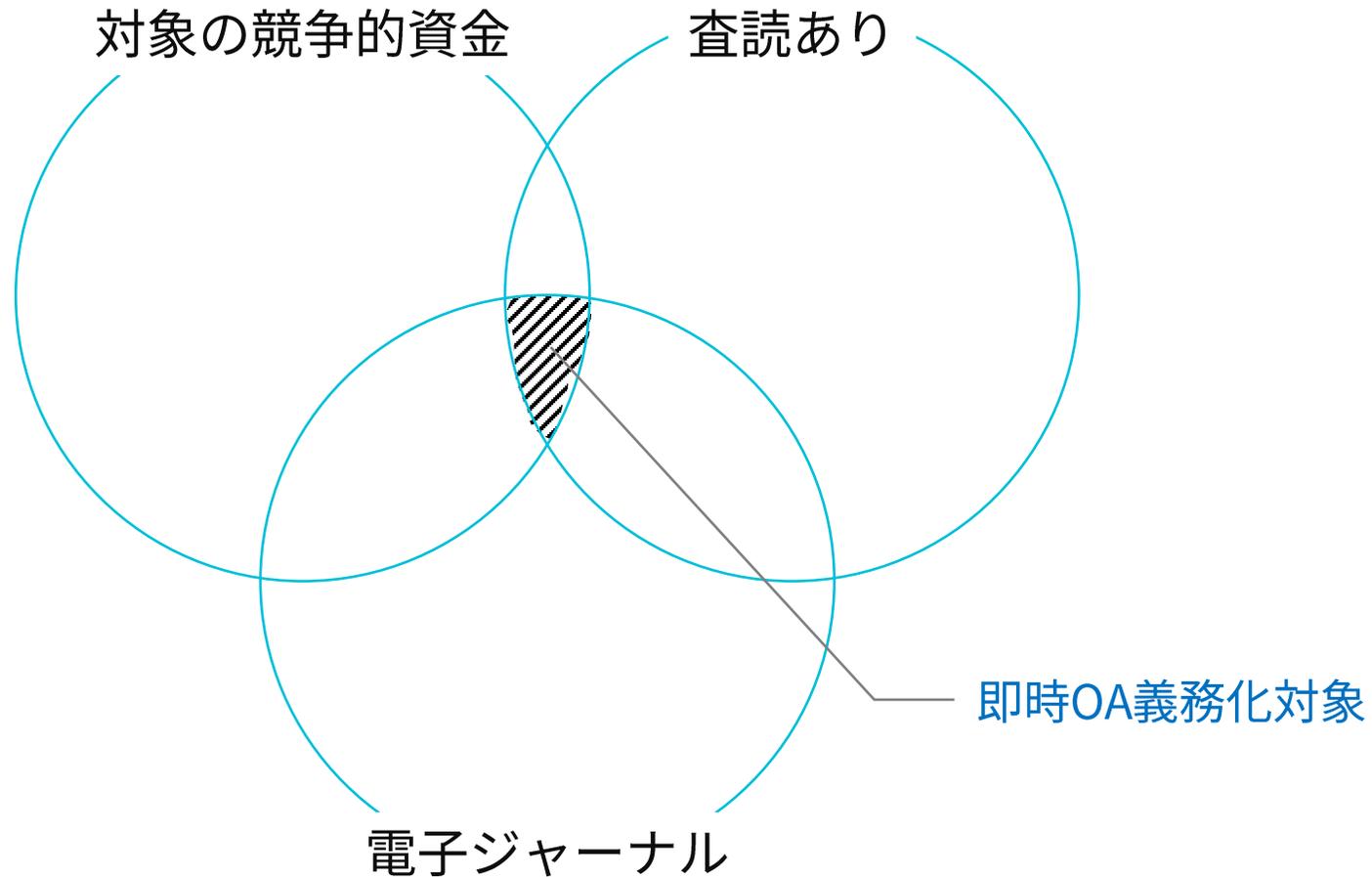
学術論文

- 電子ジャーナルに掲載された**査読済み**の研究論文
- 査読あり・オンラインで公開されたものであれば紀要論文も対象に含まれる

根拠データ

- 掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、
透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ
- Supplemental Data等の公表を前提としているデータであり、
査読の過程等で求められるデータ等**公表を前提としていないデータは含まない**

対象となる学術雑誌論文

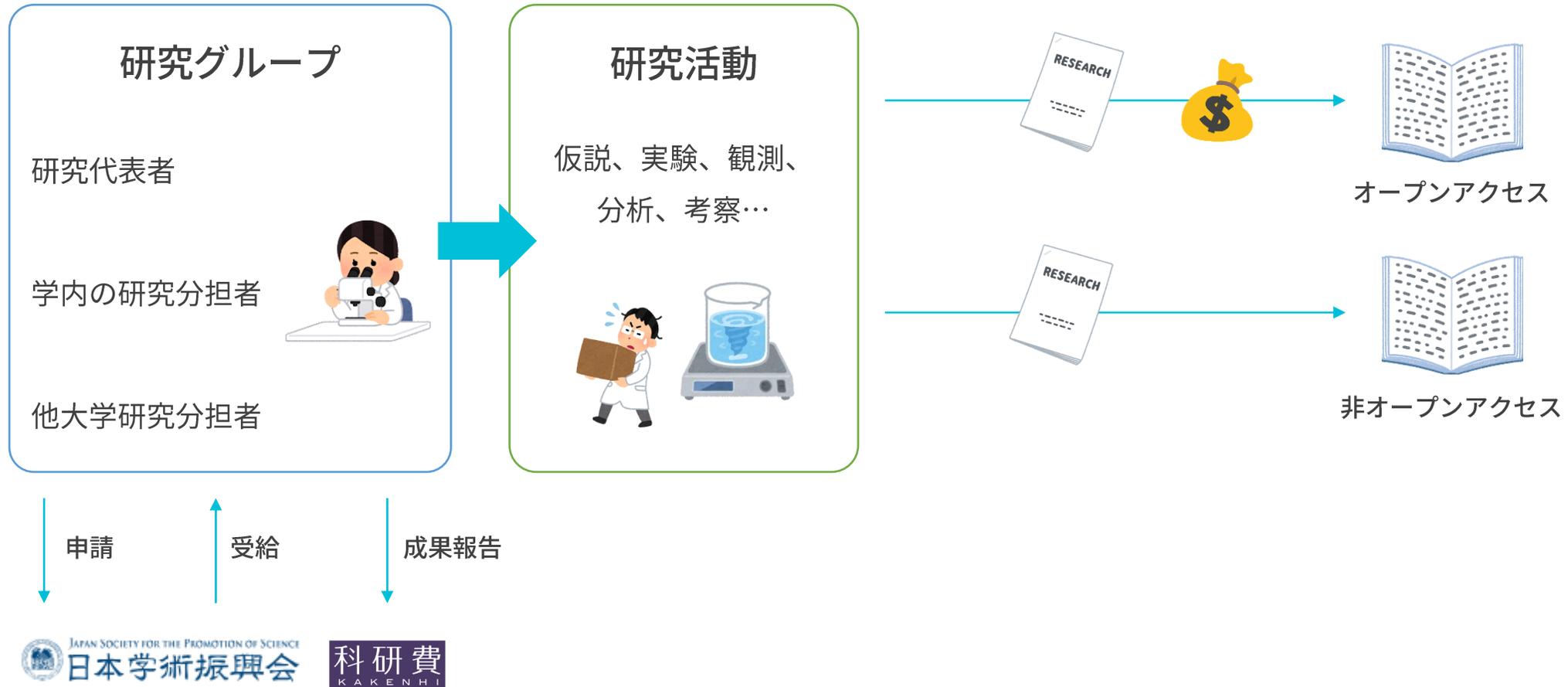


対象の論文は全部リポジトリに登録するの？

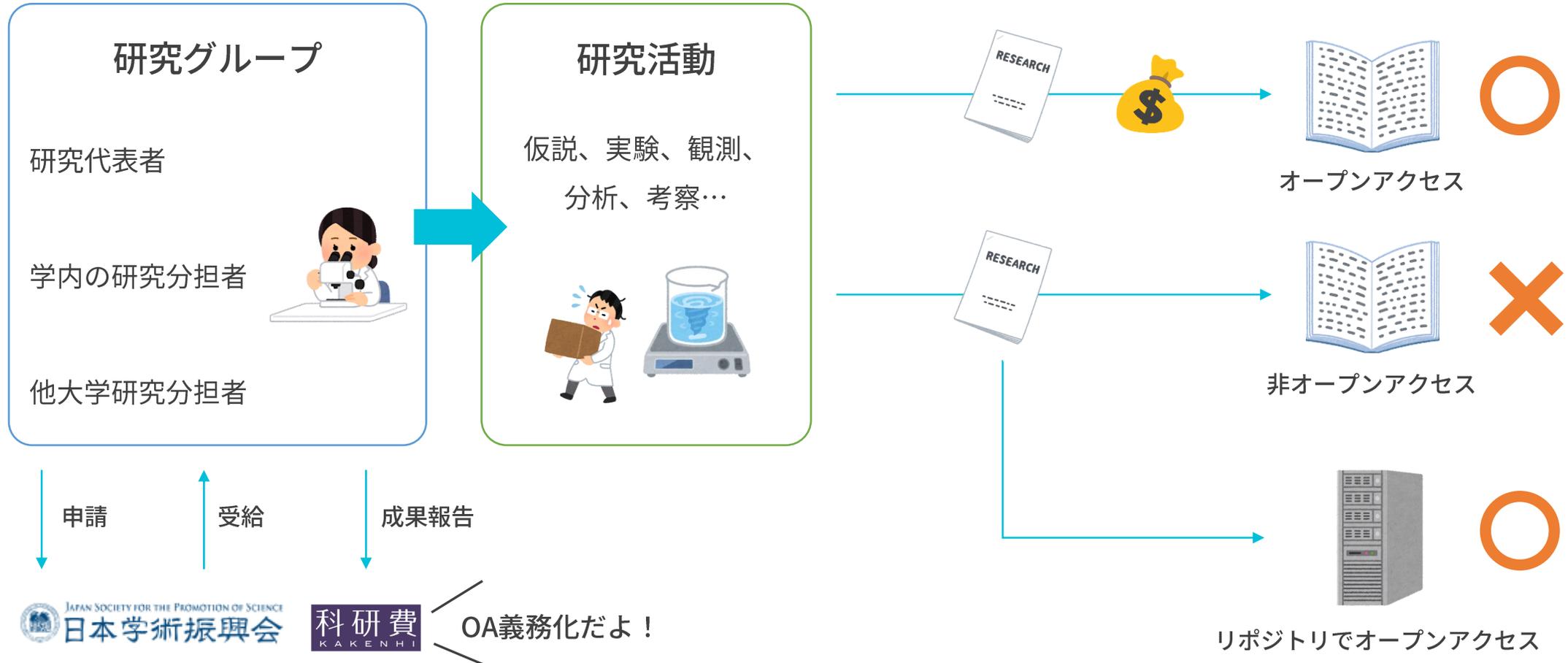
Gold OA ジャーナルでの論文出版によるOA		Green OA セルフアーカイビング		Bronze OA
<p>フルOA ジャーナル</p> <p>購読契約をせず、すべての論文をOAで提供するジャーナル</p>	<p>ハイブリッド ジャーナル</p> <p>購読型ジャーナルのOAオプションを選択することで、論文単位でOAにするもの</p>	<p>機関リポジトリ</p> <p>●●大学のリポジトリ</p>	<p>分野リポジトリ プレプリントサーバ</p> <p>PubMedCentral, arXiv, bioRxiv, Jxivなど 近年急激に増加</p>	<p>出版社サイトで無料公開されているが、OAのライセンスが付与されていない論文</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● APCが必要 ● ハイブリッドは購読料との二重払い？ ● 可視性が高い→より大きいインパクト ● CCライセンスでの公開→著者に著作権が留保される 				
<ul style="list-style-type: none"> ● 著者の費用負担なし ● 出版社の著作権ポリシーにより、多くは著者最終稿・エンバーゴありでの公開 ● 大学の責務・セーフティネットとして、研究成果を蓄積・公開 ● 質保証の点は、最終的に出版社版で担保 				
				<p>Diamond OA</p> <p>研究機関、公的助成機関等が資金提供することにより、著者や読者が費用を負担することなくOAにするもの</p>

＝他の場所でオープンアクセスになっていない論文

研究活動にてらし合わせてみると…



研究活動にてらし合わせてみると…



「どうする」の詳細

“機関リポジトリ等の情報基盤への掲載”

= NII RDC上で検索可能にすること

そのための方法

- 機関リポジトリへ登録
- NII RDC上で検索可能な分野別リポジトリ等へ登録
- JxivやGRANTS Dataに登録
- 資金配分機関の実績報告に識別子を登録 …ちなみにリポジトリ以外でOAのものはここに含まれる

「いつまでに」？

「即時」とは？

目安として**学術雑誌への掲載後** 3 か月程度で

「**機関リポジトリ等の情報基盤**」において公開されることが望ましい

- 学術雑誌への掲載＝学術論文が電子版として学術雑誌に掲載
- 巻・号・ページが決定する前に電子版として先行して掲載される場合はその時点

出版社に許可されていない場合（エンバーゴ）は？

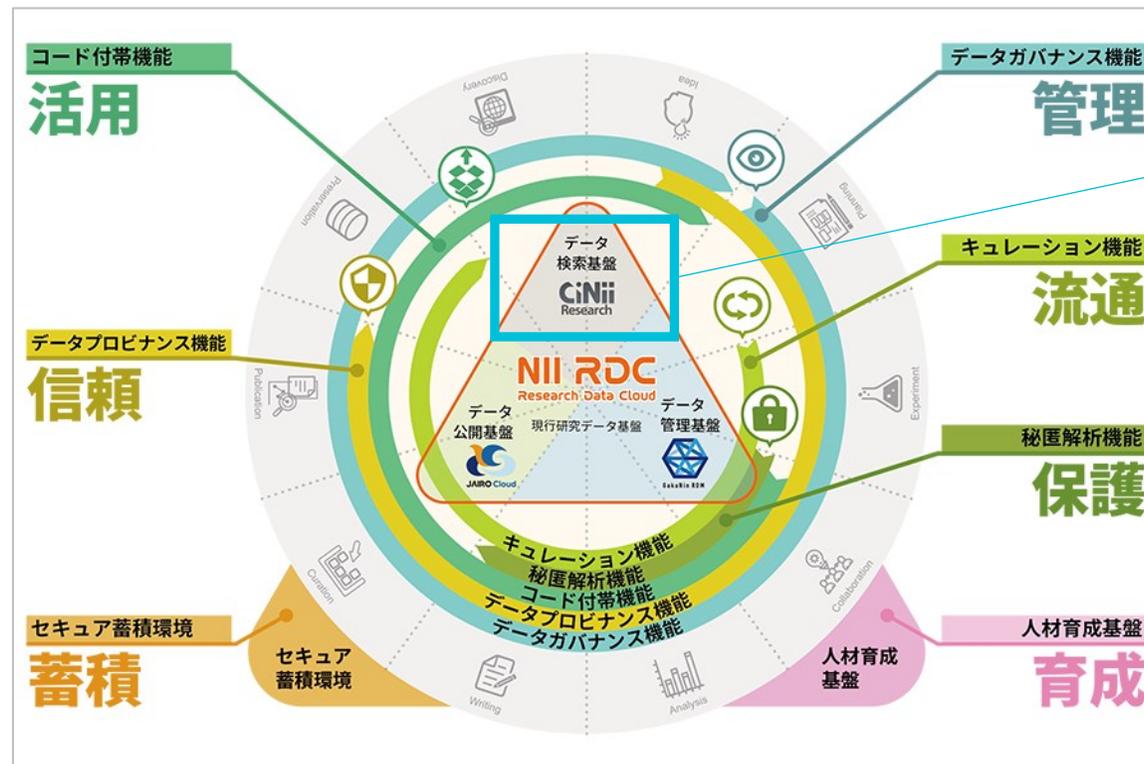
即時オープンアクセスの実施が**困難な理由が解消された場合は速やかに**

「**機関リポジトリ等の情報基盤**」への掲載を行う

具体的な対応

NII RDC (Research Data Cloud) って？

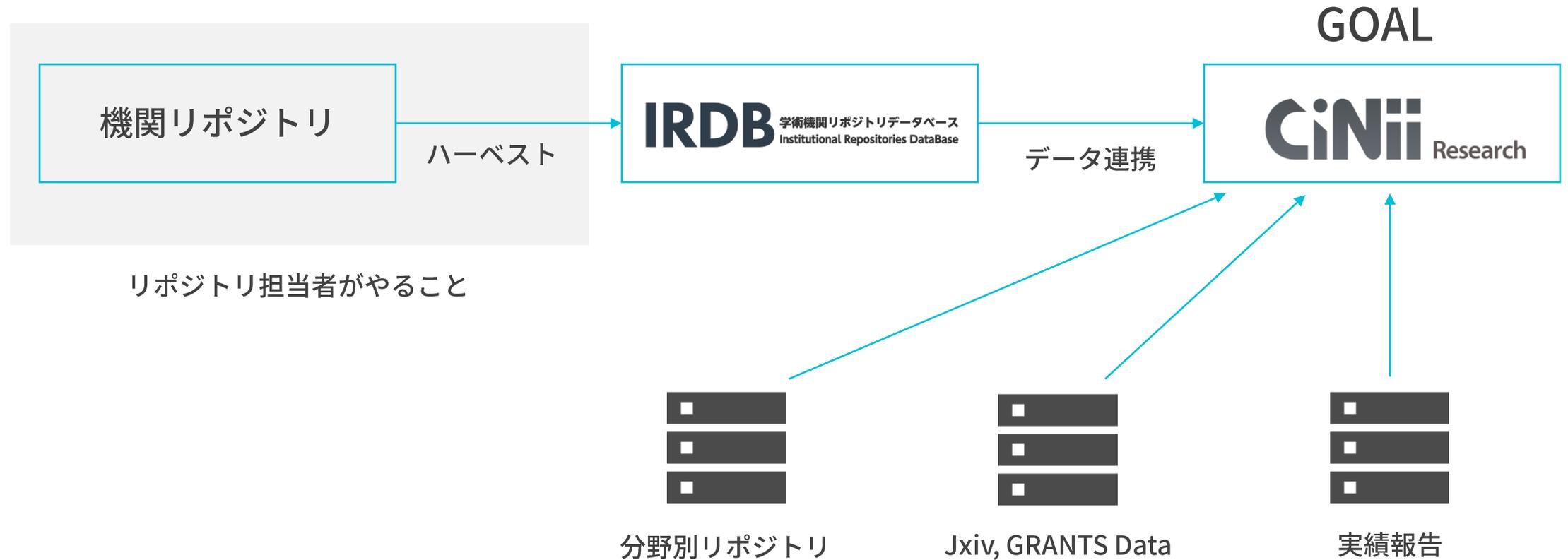
NIIが運用する研究データの管理・公開・検索基盤



NII RDCで検索可能にする

=CiNii Researchで検索可能にする

CiNii Researchで検索できるようにするには



リポジトリにおけるハーベスト

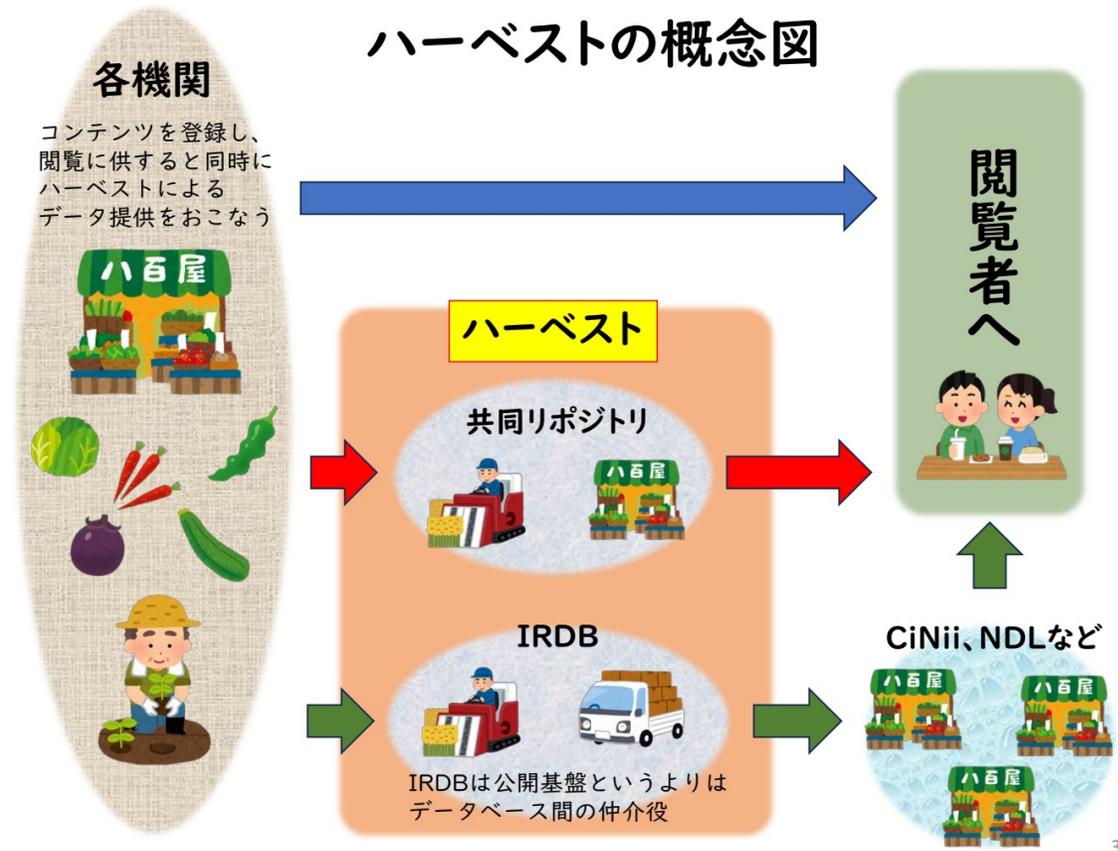
- 機関リポジトリに登録したアイテムのメタデータを世界中のデータベースで利用できるようにすること

世界中のデータベース

= 国立国会図書館、文献情報データベース (CiNii Research等) etc...

- 適切なメタデータを付与することで
ハーベストによってメタデータ流通した際に
世界中のデータベースでアイテムの発見可能性が上がる

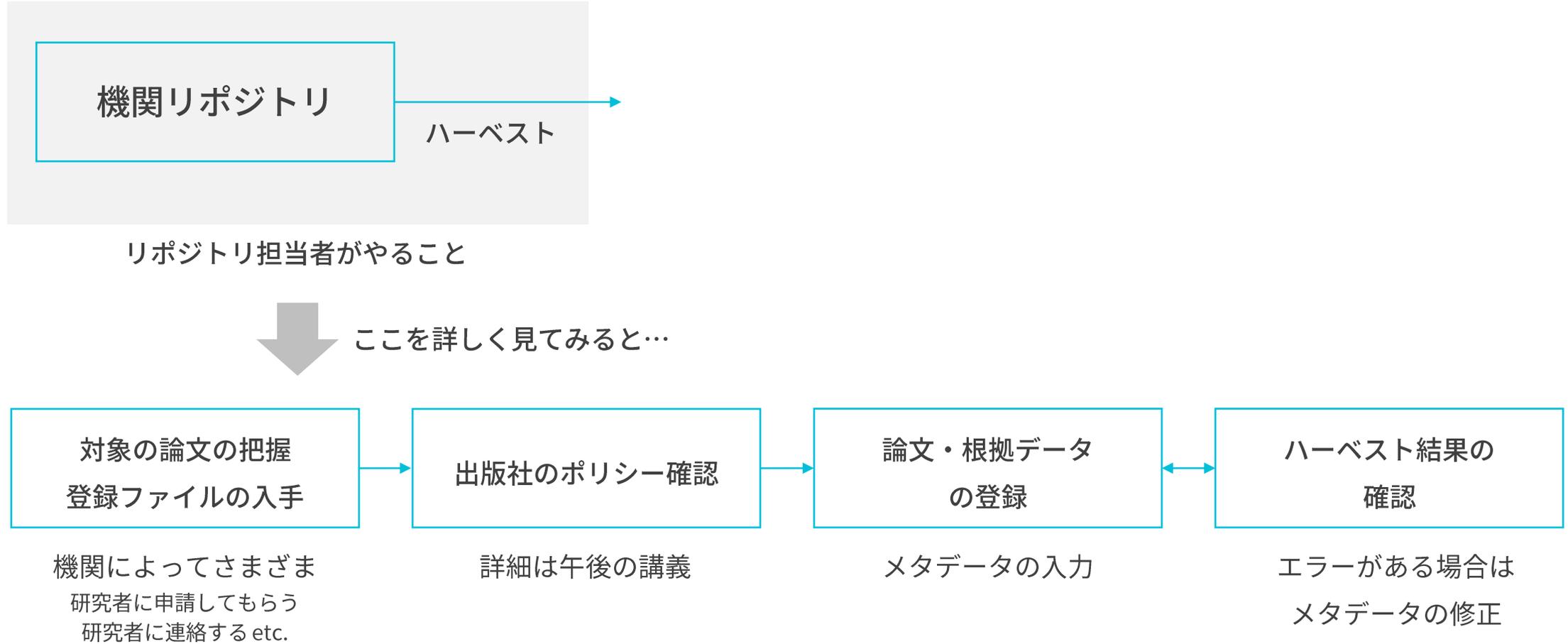
ハーベストの概念図



3



学術論文登録の業務フロー



メタデータの入カルール

リポジトリのメタデータは「JPCOARスキーマ」に基づいて入力します

現在のJAIRO CloudはJPCOARスキーマ1.0、近いうちに2.0へバージョンアップ

※JAIRO Cloud以外のリポジトリを運用している場合、「junii2」の場合もあります

A screenshot of the JPCOAR Schema Guidelines website. The page title is 'JPCOARスキーマガイドライン' (JPCOAR Schema Guidelines). It features a search bar and a language selector set to 'English'. A navigation menu includes 'スキーマ説明', '改訂履歴', 'FAQ', 'お知らせ', '事例紹介', '問い合わせ', and '関連リソース'. The main content area contains introductory text about the JPCOAR schema, a list of 'お知らせ' (News) items with dates and descriptions, and a 'Pick up' section with a link to the guidelines.

JPCOARスキーマガイドライン
JPCOAR Schema Guidelines

検索 English

スキーマ説明 改訂履歴 FAQ お知らせ 事例紹介 問い合わせ 関連リソース

JPCOARスキーマは、オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) が策定した新しいメタデータ規格です。日本の機関リポジトリのメタデータの国際的な相互運用性を向上させ、日本の学術的成果の円滑な流通を図ることを目的としています。

このウェブサイトでは、JPCOARスキーマの説明 (ガイドライン) やFAQ (よくあるご質問) といった、JPCOARスキーマに関する各種情報を提供しています。

XMLスキーマ定義と項目一覧 (Excel, PDF) は、<https://github.com/JPCOAR/schema> をご参照ください。

お知らせ

2025-04-14	事例紹介「学術機関の機関リポジトリから学習教材に関するメタデータを集約したOERリポジトリの事例」を追加しました。
2025-02-12	「事例紹介」ページを追加しました
2024-11-15	JPCOARスキーマVersion 2.0の「20.1関連識別子 (jpcoar.relatedIdentifier)」の統制語彙の修正について
2024-03-22	「リポジトリにおける多言語・非英語コンテンツ管理のためのCOARグッドプラクティスアドバイス」日本語版を公開しました。
2023-11-08	JPCOARスキーマVersion 2.0改訂に伴い「メタデータ流通ガイドライン」<共通編>が更新されました。

● お知らせ一覧

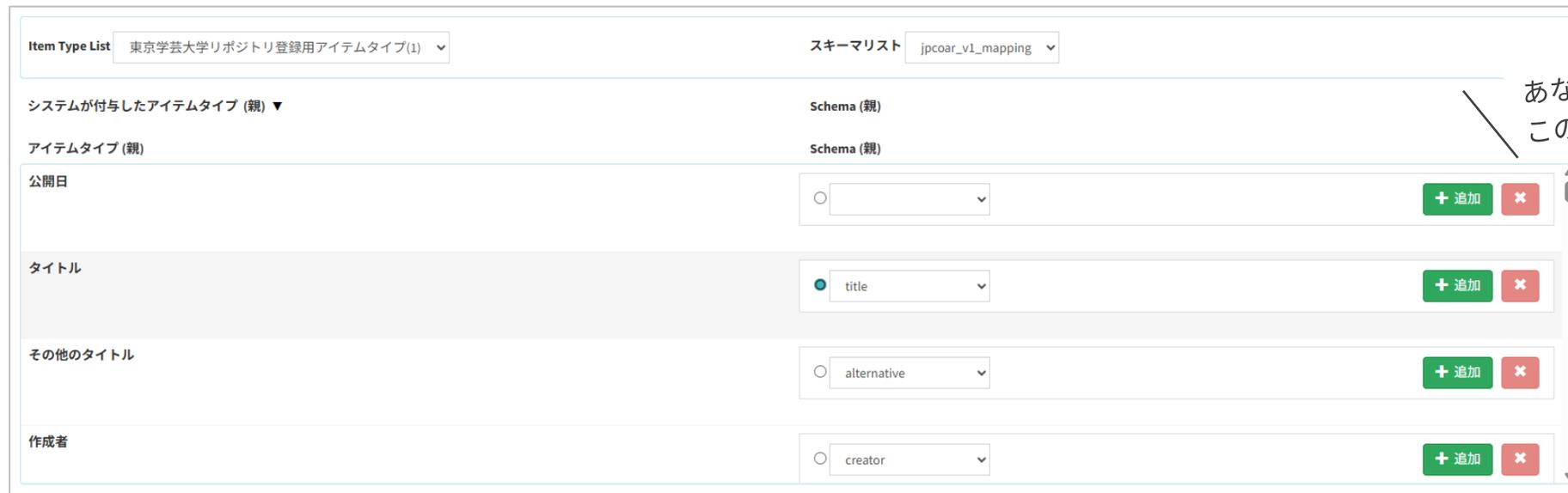
Pick up

メタデータの入力については、以下のガイドラインも公開されています。併せてご確認ください。

少し余談：アイテムタイプとマッピング

アイテムタイプ：アイテム登録時に入力できるメタデータ項目のひな形

マッピング：そのメタデータ項目がJPCOARスキーマでいうと何なのかという紐づけ



The screenshot shows a web interface for configuring item types and mappings. At the top, there are two dropdown menus: 'Item Type List' (set to '東京学芸大学リポジトリ登録用アイテムタイプ(1)') and 'スキーマリスト' (set to 'jpcoar_v1_mapping'). Below these are two columns of configuration options. The left column, 'システムが付与したアイテムタイプ (親) ▼', lists item types: '公開日', 'タイトル', 'その他のタイトル', and '作成者'. The right column, 'スキーマ (親)', lists the corresponding JPCOAR schemas: an empty dropdown, 'title', 'alternative', and 'creator'. Each row has a radio button to select the schema and buttons for '+ 追加' and '×'.

あなたのリポジトリでは
この項目が「title」なんですね

IRDB

IRDBにハーベストされるためのメタデータ項目



学術機関リポジトリデータベース サポート
Support Institutional Repositories DataBase

お知らせ
利用規約
マニュアル
ハーベスト
FAQ
問い合わせ
申請
技術情報

ホーム / ハーベスト仕様 / エラーチェック・正規化仕様

- ⊕ junii2
- ⊖ JPCOARスキーマ
- > エラーチェック・正規化仕様
 - > エラーチェック解説
 - > データ連携 - 国立国会図書館
 - ▶ データ連携 - JaLC
 - > データ連携 - CiNii Research
 - ▶ マイコンテンツ・ユーザ情報

エラーチェック・正規化仕様

現在の対応バージョン

- ver.2.0 (メタデータPrefix : jpcoar_2.0)
- ver.1.0.2 (メタデータPrefix : jpcoar_1.0)
- ver.1.0.1 (メタデータPrefix : jpcoar)

#JPCOARスキーマ自体のガイドラインは、以下をご参照ください。
[JPCOARスキーマガイドライン](#)

ver.2.0

- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v2.0](#) (682.47 KB)
- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v2.0_資源タイプ](#)
- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v2.0_語彙別表](#)
- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v2.0 \[Excel\]](#) (1f

ver.1.0.x

- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v1.0.x](#) (533.01 KB) これを見る！
- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v1.0.x_資源タイプ語彙別表](#) (227.91 KB)
- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v1.0.x_語彙別表](#) (283.64 KB)
- 📄 [マッピング・エラーチェック・正規化仕様_JPCOAR_v1.0.x \[Excel\]](#) (133.04 KB)

M：必須	必ず使用する
MA：該当する場合は必須	該当する情報がある場合は、必ず使用する
R：推奨	使用が望ましい
O：任意	使用は任意とする

即時OAの文脈で意識したい項目

メタデータ項目	記入レベル	説明
助成情報	あれば必須	フォローアップ調査時の集計の一助になる可能性が高い
研究課題番号	あれば必須	同上
作成者所属	推奨	少なくとも自学所属の研究者には入力しておくとうい
権利情報	推奨	出版社の規定で表示を求められている場合が多い
ライセンス	推奨	ファイル情報に入力できる「ライセンス」項目はマッピングできないため、別途「権利情報」に入力する

CiNii Researchにデータ連携されるための条件

IRDB 学術機関リポジトリデータベース サポート
Support Institutional Repositories DataBase

お知らせ
利用規約
マニュアル
ハーベスト
FAQ
問い合わせ
申請
技術情報

ホーム / ハーベスト仕様 / データ連携 - CiNii Research

- juni2
- JPCOARスキーマ
- ▶ エラーチェック・正規化仕様
- ▶ エラーチェック解説
- ▶ データ連携 - 国立国会図書館
- ▶ データ連携 - JaLC
- ▶ データ連携 - CiNii Research
- ▶ マイコンテンツ・ユーザ情報

データ連携 - CiNii Research

CiNii Research

ハーベストされたメタデータのうち、条件を満たしたものを対象としてCiNii Research（論文／研究データ／学位論文・博士論文）とのデータ連携を行います。

なお、「論文」の連携条件と「研究データ」の連携条件を同時に満たした場合は、CiNii Researchでは「論文」として収録されます。

- 論文
- 研究データ
- 学位論文・博士論文
- 注意

論文

連携条件

以下の条件 1、2、3のすべてを満たすもの。

1. CiNiiへの連携対象IRからハーベストされたメタデータである。
2. 「14 資源タイプ (dc:type)」が以下のいずれかである。
 - conference paper (会議発表論文)
 - data paper (データ論文)
 - departmental bulletin paper (紀要論文)
 - editorial (エディトリアル)
 - journal article (学術雑誌論文)
 - periodical (逐次刊行物)
 - review article (レビュー論文)
 - article (記事)
 - newspaper (新聞)
 - software paper (ソフトウェア論文)
3. 「35.1 本文URL (jpcoar:file/jpcoar:URI)」に値が設定されている。

これを見る！

CiNii Researchにデータ連携されるための条件

以下の条件 1、2、3のすべてを満たすもの。

1. CiNiiへの連携対象IRからハーベストされたメタデータである。

2. 「14 資源タイプ (dc:type)」が以下のいずれかである。

conference paper (会議発表論文), data paper (データ論文), [departmental bulletin paper](#) (紀要論文)

editorial (エディトリアル), [journal article](#) (学術雑誌論文), periodical (逐次刊行物)

review article (レビュー論文), article (記事), newspaper (新聞) software paper (ソフトウェア論文)

3. 「35.1 本文URL (jpcoar:file/jpcoar:URI)」に値が設定されている。

= 「資源タイプ」を設定して、本文ファイルを登録していれば大体大丈夫

少し余談：JaLC DOIの付与

JaLC DOIの付与はもう少し条件が多くなります

IRDB 学術機関リポジトリデータベース サポート
Support Institutional Repositories DataBase

お知らせ
利用規約
マニュアル
ハーベスト
FAQ
問い合わせ
申請
技術情報

ホーム / ハーベスト仕様 / データ連携 - JaLC

- junii2
- JPCOARスキーマ
- > エラーチェック・正規化仕様
- > エラーチェック解説
- > データ連携 - 国立国会図書館
- > データ連携 - JaLC
- > データ連携 - CiNii Research
- ▶ マイコンテンツ・ユーザ情報

データ連携 - JaLC

リポジトリの登録アイテムにIRDBを経由してDOIを付与するには、国立情報学研究所が取り纏めるJaLC準会員への参加申請が必要です。申請については国立情報学研究所が取り纏めるJaLC準会員 [☑](#) のページを参照してください。また、DOI付与のためのメタデータ作成にあたっては、[技術情報 JaLC ☑](#) もご参照ください。

- JaLCへ提出するメタデータのフォーマットチェック
- JaLCメタデータのオープン化（「抄録」の取り扱い）に関する注意

JaLCへ提出するメタデータのフォーマットチェック

ここでは[機関リポジトリからIRDBへのハーベストをJPCOARスキーマで行った際](#)に実行されるチェック内容を解説します。機関リポジトリからIRDBへのハーベストをjunii2フォーマットで行った際のチェック内容は、junii2仕様 > データ連携 - JaLC [☑](#) を参照してください。

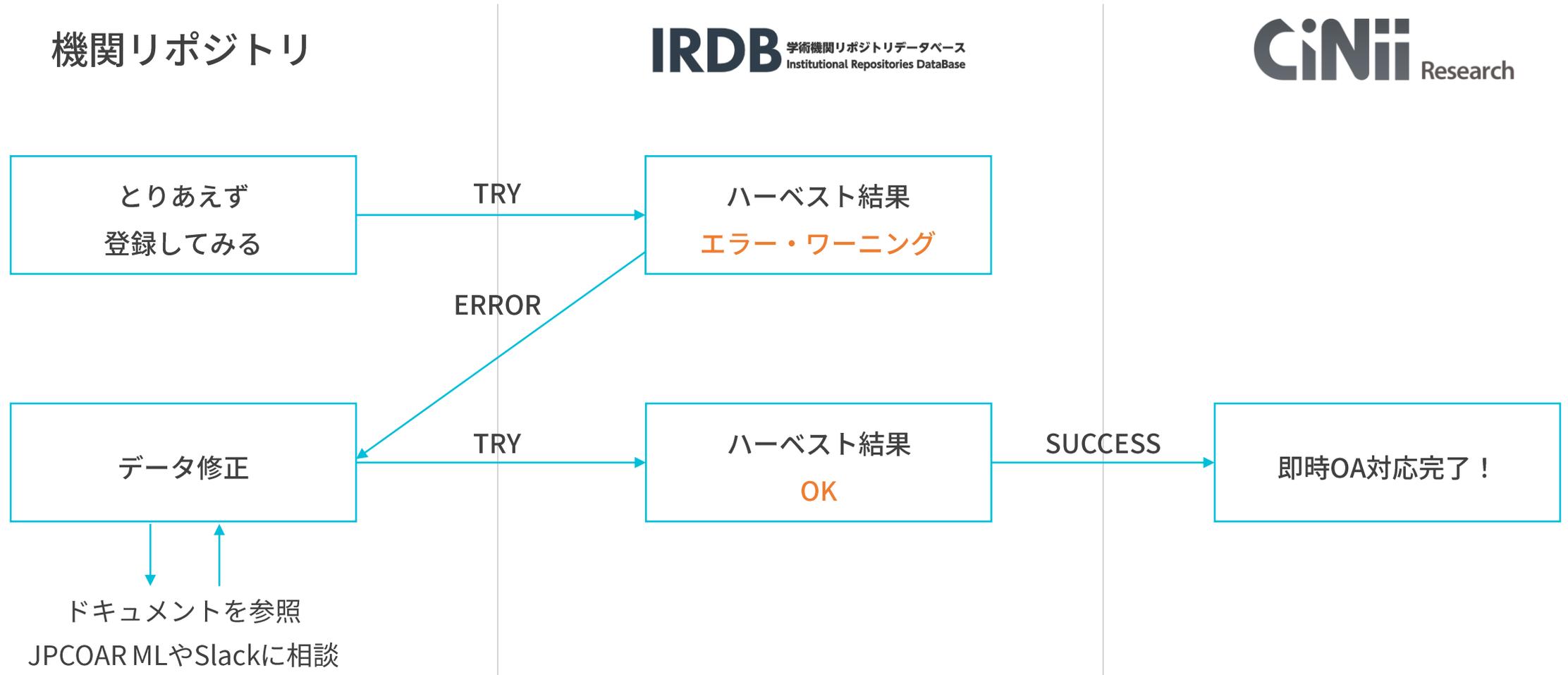
チェック条件

以下のすべての条件を満たすアイテムは、通常のフォーマットチェックに加えて下記のチェックを行います。

- 「18 ID登録（jpcoar:identifierRegistration）」に値がある
- 属性identifierTypeの値がJaLC、CrossrefまたはDataCite

◀これがすごい大事！

エラーが起こっても大丈夫！



根拠データの登録

研究データ

- 研究開発の過程で生み出される全てのデータ

即時OAの文脈における「根拠データ」

- 掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、
透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ
- Supplemental Data等の公表を前提としているデータであり、
査読の過程等で求められるデータ等**公表を前提としていないデータは含まない**

根拠データの登録方法

様式 (A)

「研究データ」として、個別の1アイテムとして登録する

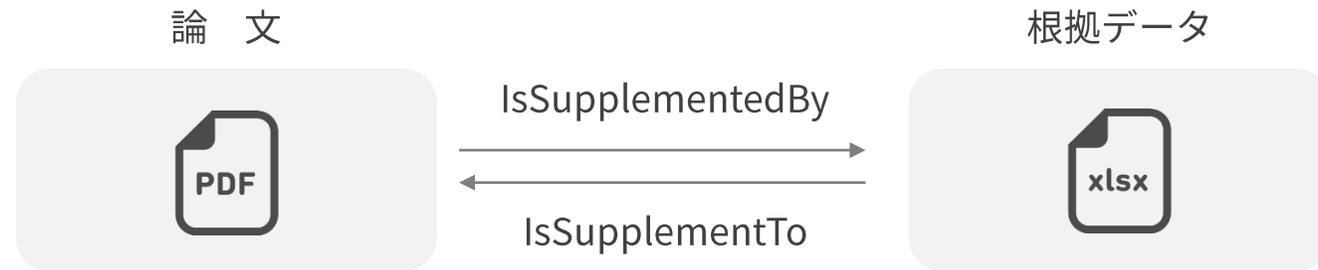
様式 (B)

論文を公開する主アイテムの一部として

「根拠データ」のファイルを付属する形で公開する

根拠データの登録方法

様式 (A)



Relationで
関連づける

CiNii Reserchでも個別のアイテムとして扱われる

様式 (B)



CiNii Reserchでは「論文」のアイテムとして扱われる（研究データとしては扱われない）

どちらの様式で登録するか？

CiNii Researchの説明

- 原則として「**様式 (A)**」 FAIR原則に則った発見可能性・アクセス容易性
- 論文の一部として公開することが必要とされる
あるいはせざるを得ない研究データは「**様式 (B)**」

データの性質に適切な公開様式を選択して公開 (Suppl.はB?)

- JPCOAR Slackの「#研究データの登録に備える」も覗いてみてください

参考になる資料

機関リポジトリへの研究データ登録ガイドライン (研究データ作業部会)

アクセス：JPCOARウェブサイト > サポート > リポジトリ登録業務を学ぶ

機関リポジトリへの
研究データ登録ガイドライン

Ver. 1.0



目次

I. 本ガイドラインについて	3
II. 事前知識	5
1. 登録の前に	5
2. 「研究データ」として登録対象となる資源	5
2-1. 研究データの定義	5
2-2. 論文と根拠データ	5
III. リポジトリ登録	7
1. リポジトリ登録のパターン	7
パターン1 研究データのみを単体で登録する	7
パターン2 研究データを論文の一部として登録する場合	10

査読済み学術論文・根拠データの登録デモ

デモのシチュエーション

- 所属する機関の研究者から、科研費を用いた研究の成果物として、論文を執筆し、ジャーナルに掲載された旨、連絡があった
- 論文の著者最終稿と根拠データ（電子ジャーナルでSupplemental dataとして公開）が提供された
- 論文の書誌情報は以下のとおり

Gushiken, Kenta. Strategic Utilization of FC Ryukyu’s “Jinbe-nho” for Community Engagement. Naha Journal, 2026, 41(7), 8–15.
<https://doi.org/10.55555/nahj.2026.41.7.8>
- 助成情報は以下のとおり

助成団体 : 日本学術振興会（<https://doi.org/10.13039/501100001691>）、
研究課題番号 : 25K1234X
研究課題名 : ローカルキャラクターの広報活用に関する研究

デモのシチュエーション

出版社ポリシーを確認したところ、以下だった。 ※架空の出版社です

Self-Archiving:

- Authors can share their accepted manuscript 著者最終稿を公開できる
- After a 6-month embargo period: 6か月エンバゴ
- Via non-commercial hosting platforms, such as their institutional repository 機関リポジトリOK

In all cases accepted manuscripts should:

- Link to the formal publication via its DOI. DOIで電子ジャーナルにリンクしなさい
- Bear a CC BY-NC-ND license CC BY-NC-NDで公開しなさい

How to attach a user license:

- Fictional Research Press requires authors posting their accepted manuscript to attach a non-commercial Creative Commons user license (CC BY-NC-ND). This is easy to do. On your accepted manuscript, add the following to the title page, copyright information page or header/footer: © YEAR. Licensed under the Creative Commons [insert license details and URL]. ライセンスを表示しなさい

デモでお見せする手順①

1. デフォルトアイテムタイプ（フル）でワークフロー起動
2. 論文ファイルと研究データファイルをアップロード
3. 【ファイル情報】
 - 本文URLがあることを確認
 - オブジェクトタイプ : 「fulltext」 *研究データファイルは「dataset」
 - フォーマット : 「application/pdf」 *研究データファイルの時はフォーマットにあったものを選択
 - 日付タイプ : 「Available」、日付にエンバーゴ期間明けの日付を入れる
 - アクセス : 「オープンアクセス日を指定する」 *エンバーゴがない場合「オープンアクセス」を選択
 - 公開日 : エンバーゴ期間明けの日付を入れる
 - 表示形式 : 「詳細表示」（各大学の運用による）
 - ライセンス : 今回は「CC BY-NC-ND 4.0」を選択

（研究データ側で繰り返し）

デモでお見せする手順②

4. 【公開日】 : メタデータの公開日の日付を入れる
5. 【タイトル】 : メタデータ通りに入れる
6. 【作成者】 : メタデータ通りに入れる
【作成者所属識別子】 【作成者所属機関】 も可能なら入れる
7. 【アクセス権】 : 「embargoed access」を選択する
エンバーゴ期間明けに「open access」に変更が必要
8. 【権利情報】 : 出版社に求められている記載のとおり入れ、ライセンスの情報も入力
必要に応じて研究データの利用条件も入れる
9. 【内容記述】 : 余裕があれば研究データの説明・データ管理情報を入れる

デモでお見せする手順③

10. 【日付】 : ファイル情報と同様に入れる
(日付タイプに「Available」、日付にエンバーゴ期間明けの日付を入れる)
11. 【資源タイプ】 : 「journal article」を選択する
12. 【出版タイプ】 : 今回は「AM」を選択する
13. 【関連情報】 : 今回は関連タイプ「isVersionOf」を選択し、
関連識別子「DOI」と「DOIのURL」入力
14. 【助成情報】 : 研究課題番号、研究課題名を入れる。助成機関識別子、助成機関名を入れる
15. 【書誌情報】 : メタデータのとおり入れる
16. 次へ→インデックスの指定→登録→登録完了！